

## 2023年通常総会議案書

### ■ 第1号議案

#### 2022年度事業報告

##### (1)組織委員会より

- 正会員数 94名 → 2023年正会員数88名
- 賛助会員数 48社
- 助成企業数 11社
- 特別会員数 42名

##### (2)広報委員会より

- 第49回伊藤熹朔賞の内容を中心とした協会の小冊子を発行しました。  
(配布先：各美術大学、専門学校、正会員、特別会員、賛助会員、関係各所)
- JTVAN倶楽部より『JTVAN NEWS』を配信し年間活動報告を伝える。
- 横浜放送ライブラリーにて伊藤熹朔賞の対象年度受賞者のパネル展示を開始。
- 「JVAフェスタ2022年」(令和4年12月7日～11日/調布市グリーンホールで開催)第47回～第49回の伊藤熹朔賞のパネル展示、各局番組セットの模型展示を行いました。

##### (3)伊藤熹朔賞運営委員会より

- 第49回伊藤熹朔賞について

2022年10月15日(土) オンラインにて授賞式を執り行う。

本賞/ 大河ドラマ『青天を衝け』

日本放送協会/有本弘、荒川靖彦、伊達美貴子、小谷内理華<sup>こやち りか</sup>、深尾高行

株式会社NHKアート/神林篤、山崎智也、寺町美代子、岸聡光<sup>きしさとみつ</sup>

協会賞/ 『第63回 輝く！日本レコード大賞』 株式会社TBSアクト 宇野宏美

特別賞/ 株式会社テルミック 故・鳥海節夫

新人賞/ 株式会社 テレビ東京アート 岩本朝美

##### (4)芸術文化振興委員会より

- 文化庁 令和4年度新進芸術家在外研修(1年間)の申請は無し。

##### (5)日本青年団協議会について

- 第70回全国青年大会への後援並びに大会顧問の就任

### ■ 第2号議案

#### 2022年度会計報告

- 次頁参照

■第2号議案 NPO JTVAN 2022年度 決算書

**収入の部**

年会費		予算額	決算額
	個人会費(94名予算時)	940,000	500,000
	賛助会費(54社)	1,620,000	1,110,000
	企業助成金(40口)	1,200,000	1,200,000
	未納金		270,000
	特別会員費		0
その他収益			
	その他収入	300,000	60,090
収入の部 A 計		4,060,000	3,140,090

**支出の部**

**事業費用**

①伊藤嘉朔賞		予算額	決算額
	授賞式経費	1,250,000	591,192
	選考会経費	270,000	280,000
②小冊子発行			
	プロデュース・編集委託費	595,000	546,372
	印刷経費		
③インターネット運営			
	ホスティング費用	66,000	66,000
	書き換え費用		
⑥事務運営費用			
	事務所維持委託費	699,600	949,146
	会議費	0	0
	会員宿泊費・交通費	50,000	0
	雑費・交際費	50,000	0
⑤その他事業・日本青年団			
	JVA展	0	97,240
⑥その他事業・NPO会費			
	NPO会費	10,000	10,000
管理費用			
⑦事業支出以外の管理費用			
	通信・運搬費(管理費計上)	150,000	27,979
	消耗品購入費(管理費計上)	60,000	0
	支払い手数料(管理費計上)	16,000	7,020
支出の部 B 計		3,216,600	2,574,949

**収支まとめ**

次年度繰越金(A-B)	2,028,501	565,141
前年度繰越金		2,624,735
余剰金		184,106
正味資産額		3,373,982

会計



監査



監査



2023年通常総会議案書

■ 第3号議案

2023年度役員の変更について

役員

- 理事長 村竹良二 (テレビ朝日)
- 副理事長 石田道昭
- 顧問 高原 篤 (テレビ朝日クリエイト)
- 名誉顧問 三原康博 (関東フリー)
- 常任理事 三好正木 (NHK)
- 北原國彦 (テレビ朝日)
- 永田周太郎 (TBSテレビ)
- 荒川淳彦 (関東フリー)
- 箕田英二 (読売テレビ)
- 小堺健司 (関東フリー)

事務局員

- ◎事務局長 小堺健司 (関東フリー)
- 事務局次長 山崎正臣 (NHK大阪拠点放送局)
- 事務局員 本多規子 (SMA)

監事

- 水速信孝 (NHK OB) 賛助会員(48社)
- 越智和夫 (NHK OB) 助成企業 (11社)

理事

○関東ブロック

- ◎代表理事 池上 隆 (テレビ朝日クリエイト)
- 深尾高行 (NHK)
- 吉田真也 (NHKアート)
- 高松浩則 (TBSアクト)
- 塩入隆史 (フジテレビジョン)
- 薬王寺哲郎 (テレビ東京アート)
- 柳谷雅美 (日本テレビアート)

○中部ブロック

- ◎代表理事 橋田誠一 (CBCテレビ)
- 山崎孝治 (東海テレビ)

○関西ブロック

- ◎代表理事 口井雅弘 (朝日放送テレビ)
- 山崎正臣 (NHK大阪拠点放送局)
- 正会員 (88名) 特別会員 (43名)
- ◎代表世話役 水速信孝 (NHK OB)

■ 第4号議案

2023年度役員の変更について

- 伊藤熹朔賞運営委員会
  - ◎委員長 北原國彦 (テレビ朝日) 活動内容: 伊藤熹朔賞選考会及び
  - 副委員長 荒川淳彦 (関東フリー) 授賞式に関する運営
  - 委員 山崎正臣 (NHK大阪拠点放送局)
- 広報委員会
  - ◎委員長 北原國彦 (テレビ朝日) 活動内容: 協会冊子の発行及び
  - 副委員長 池上 隆 (テレビ朝日) HPの更新、
  - JTVAN NEWS配信
- 芸術文化振興委員会
  - ◎委員長 小堺健司 (関東フリー) 活動内容: 文化庁、振興基金に
  - 委員 本多規子 (SMA) 関わる交渉、在外研修への推薦など
- 伊藤熹朔賞50回記念出版委員会(仮)
  - ◎構成員 協会常任理事、事務局
  - 編集 カマル社 桑原茂夫

2023年通常総会議案書

■ 第5号議案

□ 2023年度 事業計画 □

4月	第50回 伊藤熹朔賞応募開始 協会在庫の美術書籍の大学への寄贈	伊藤熹朔賞運営委員会 事務局・芸術文化振興委員会
5月	第50回 伊藤熹朔賞応募締め切り	伊藤熹朔賞運営委員会
6月	第50回 伊藤熹朔賞一次選考会 (オンライン)	伊藤熹朔賞運営委員会
7月	第50回 伊藤熹朔賞新人賞選考会 (オンライン) 通常総会開催 (オンライン)	伊藤熹朔賞運営委員会 事務局
8月	第50回 伊藤熹朔賞本選考会 本選考会終了後、理事会による協会賞、特別賞の選考 横浜放送ライブラリー常設パネル展の準備	伊藤熹朔賞運営委員会 広報委員会
9月	伊藤熹朔賞授賞式準備期間	伊藤熹朔賞運営委員会
10月	第50回 伊藤熹朔賞授賞式開催予定 小冊子用 取材、編集	伊藤熹朔賞運営委員会 広報委員会
11月	伊藤熹朔賞50回記念出版事業立ち上げ	伊藤熹朔賞50周年記念出版委員会 (仮)
12月	小冊子配布 (各美術大学・専門学校・関係各所に無料配布)	広報委員会・事務局
1月	新年度準備作業、次年度「伊藤熹朔賞」 応募要項検討等	伊藤熹朔賞運営委員会
2月	横浜放送ライブラリー常設パネル展入替	広報委員会
3月	年度末決算作業	事務局

※本年度の文化庁の海外研修はコロナの影響や海外情勢を照らし合わせ、推薦を見合わせております。

■ 第6号議案

□ 2023年度 予算書 □

●次頁参照

以上

※会員の皆様には大変お手数をお掛けいたしますが、事業報告書の全てに目を通していただき内容にご同意頂けましたら別紙の『委任状』をメール、FAX、郵送のいずれかで事務局まで送ってください。会員の過半数の承認の後にオンラインによる総会を実施致します。期限までになるべくお早めに送って頂けますようご協力のほどお願い申し上げます。

■第6号議案

**NPO JTVAN 2023年度 予算書**

<b>収入の部</b>		
年会費		予算額
	個人会費(88名)	880,000
	賛助会費(48社)	1,440,000
	企業助成金(11社 40口)	1,200,000
①	<b>会費合計</b>	<b>3,520,000</b>
②	<b>その他収入合計</b>	<b>0</b>
<b>収入の部 計 ①+②</b>		<b>3,520,000 A</b>
<b>支出の部</b>		
<b>事業費用</b>		
①伊藤熹朝賞		予算額
	授賞式経費	1,000,000
	選考会経費	400,000
②小冊子発行		
	プロデュース・編集委託費	550,000
	印刷経費	
③インターネット運営		
	サーバー管理・書き換え費用	66,000
④事務運営費用		
	事務所維持委託費	600,000
	会議費	0
	会員宿泊費・交通費	50,000
	雑費	50,000
⑤伊藤熹朝賞50周年出版企画		
	伊藤熹朝賞50周年記念出版企画	300,000
⑥その他事業・NPO会費支払		
	NPO会費・PC購入	200,000
	書籍データ化	100,000
③	<b>事業費用合計</b>	<b>3,316,000</b>
<b>管理費用</b>		
⑦事業出費以外の管理費用		
	通信・運搬費	50,000
	消耗品購入費	50,000
	支払い手数料	10,000
④	<b>管理費用合計</b>	<b>110,000</b>
<b>支出の部 計 ③+④+⑤</b>		<b>3,426,000 B</b>
<b>次年度繰越金 A-B</b>		<b>94,000</b>

## 記念事業企画書抜粋

### 伊藤熹朔賞 50 回記念冊子企画概要

伊藤熹朔賞は、舞台美術に歴史的な功績を遺した伊藤熹朔氏を偲び、毎年、舞台美術とテレビ美術に功績のあった人を顕彰するところから始まった賞です。1999 年の第 27 回から、テレビについては、テレビ日本美術家協会（以下、JTVAN と表記）が実施するようになり、2023 年に第 50 回を数えるに至っています。大きな節目となるこの機会に、伊藤熹朔賞はもとより、JTVAN のこれまでの歩みを可能な限りリアルに記録し、次世代以降につなげていくべきではないかと考え、以下のような冊子の制作を提案します。

#### 【編集・制作体制】

伊藤熹朔賞 50 回記念出版委員会（仮）＝協会常任理事、JTVAN 事務局で構成

編集実務＝カマル社・桑原茂夫

編集⇒発行＝内容をまとめ理事会の承認後 2023 年 11 月スタート～2024 年 6 月発行予定

#### 【構成と概要】

- 巻頭挨拶＝現・理事長 ●テレビ日本美術家協会の歩み
- 伊藤熹朔賞のこと＝受賞者（受賞番組）データの一覧表、後々活用できるように構成し、運営委員・北原國彦による概説（印象に残っている選考経過など）を適宜加える。授賞式の写真をグラフィックに展開しながら。
- 受賞者の思い＝冊子掲載のインタビューから、テレビ美術家ならではの印象的な表現をピックアップして構成する
- 特別賞を振り返る

#### 【冊子の仕様】

- A 5 判オールカラー、無線綴じ表紙と併せて 96 ページ、250 部作成予定。
- 本文＝横組み、二段組予定。

【広告】賛助会社基本情報＝会社名、代表者名、連絡先などの情報＋テレビ美術に関する仕事内容等

#### 【概算】

印刷製本費 200,000 円 プロデュース、編集料 800,000 円

デザイン料（データ作成費含む） 200,000 円（総額で 120 万円+税）

予備費 30 万円+税、冊子送料は別途

#### 【配布先など】

各局の然るべき部門、賛助会員会社、関連大学など、計 250 部に配布。